

弘前薬剤師会広報

新年のご挨拶

弘前薬剤師会 会長 前田 淳彦

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年の総会にて一般社団法人弘前薬剤師会をたちあげるためにもう1期会長を務めさせていただくことになりましたが、設立が遅れておりますことをお詫び申し上げます。昨年11月に法人化説明会を開催いたしました。今後は開設者の皆様への説明会を開催致しますのでご協力をお願いいたします。会員が300名を超えていること、FAX事業を行っていること、地域及び行政に対して責任ある活動を行うこと、これらを考えますと、法人化しなければならないのではと思います。また法人化に合わせまして、事務局を移転したいと思っています。永年、弘前市薬剤師薬局に、ただ同然に拠点置いてきましたが、中立的な立場を取るためにも事務局を移転したいと思っています。また、急患診療所における院内投薬での薬剤師派遣の協力について案内いたしました。急患診療所以外の休日・夜間の二次救急と日中に利用できなかった処方箋の受入体制の問題があり、弘前市と医師会と薬剤師会の三者での話し合いにおいて、地域医療構想が具体化する期間として一年間様子を見ることになりました。本来ならば、夜間の処方箋の受入については、キーマンである薬剤師会が組織で取り組み解決の道を見つけなければならぬと思います。

おわりに、弘前薬剤師会は「会員のみならず地域のために」をスローガンに今年一年を活動したいと思っています。会員の皆様には、今年も本会へのご協力宜しくお願いいたします。

一般社団法人 青森県薬剤師会

弘前支部広報 第245号

発行日 2017年(平成29年)1月1日

発行所 (一社) 青森県薬剤師会 弘前支部

弘前市富田3丁目14-1

TEL (0172)32-6205 FAX (0172)32-9199

<http://hirosakiyaku.com/>

支部通信

- 12/12 第5回親睦委員会
さいとう調剤薬局本町店
- 12/14 県薬常務理事会 県薬会館
歯科処方例集作成会議 弘前歯科医師会館
- 12/15 急患診療所運営委員会 弘前市医師会
- 12/16 平成28年度第2回弘前市地域包括支援センター運営協議会 弘前市役所
第3回実務実習委員会
みんゆう調剤薬局アルカディア店
- 12/19 第7回地域保健委員会
さいとう調剤薬局本町店
- 12/20 支部役員会 弘前市学習センター
- 12/27 第30回「市民の健康まつり」反省会
弘前総合保健センター

役員会だより

第11回役員幹事会

日時：平成28年12月20日(火) 午後7時15分～

場所：弘前市総合学習センター

議長：前田会長 議事録作成：八木橋専務

出席者：前田会長、上田・小笠原・加藤・齋藤・奈良・安田・佐々木(直)・工藤・小鹿・前田(峻)

吉岡各幹事、坂本監査役、八木橋専務幹事

●支部議題

報告事項

- (1) 法人化プロジェクトチーム会議

(12/12 マエダ調剤薬局中央店)

・協議事項(2)参照

- (2) 急患診療所運営協議会 (12/15 弘前市医師会)

・出席者：前田会長

・弘前薬剤師会の現状説明と二次輪番等で休日夜間対応している弘前市薬剤師薬局の経営状況を伝え、弘前市と医師会歯科医師会と共同で薬剤師会の方向性を検討したい旨を伝えた。

(3) 歯科処方例集会議 (12/14 弘前市歯科医師会館)

・出席者：齋藤（武）・安田・小笠原・前田（峻）各幹事

・前回の会議に続き訂正内容の確認をして、一通り見直しが出来た。3月初めに最終校正確認し、今年度内には発刊予定。

・新しい委員として、大谷先生を追加した。

(4) 実務実習委員会

(12/16 みんな調剤薬局アルカディア店)

・Ⅱ期の薬学生受け入れを終えての委員会報告として、特段問題なく実習を終えた。

・Ⅲ期は弘前地区で5名の実習生を受け入れ予定。
・来季の向けての問題点として受入薬局が少なく、マッチングにとっても苦労している。県薬でも問題視されており指導薬剤師がいるにも拘らず、受け入れの上げをしない薬局には委員会から働き掛けを行う。将来的に指導薬剤師の更新も検討がなされるかもしれないので、来期は受け入れ薬局が増えてほしい。

協議（審議）事項

(1) 新年会 (1/21 ホテルニューキャッスル)

・ご来賓の出欠状況を確認。弘前市長は竹内部長が代理出席予定。木村県薬会長は欠席のため祝辞他次第の変更を検討する。

・領収書の有無はこれから確認する。
・来季には、表彰の対象を決めて行くことにする。

(2) 法人化プロジェクト会議

(12/12 マエダ調剤薬局中央店)

・出席者：磯木・白滝・鈴木・津川各副会長、上田・加藤・小笠原・八木橋各幹事

・新法人に現会員をいかに移行して組織率を上げるか、そのために会費徴収方法在り方について等々議論した。

・他地薬の参考例もあるが、デットストック事業・FAX 事業ほか様々な事務局機能のメリットを説明会で理解してもらう必要がある。

・薬局会員の会費徴収について、チェーン薬局に理解され易い提案も上がり、理事会で意見を聞いた上で検討する。

・新事務局案として検討していた場所が、家賃の折り合いがつかず話が振り出しに戻る。早急に別案の検討が必要。

(3) その他

・上田幹事より来季の青森県薬剤師会学術大会についての話題提供あり。

弘前薬剤師会からは是非演題発表をして欲しい。

前田会長も早期からの企画準備に賛成。

●第47回薬剤師生涯セミナーについて

・弘前保健所からは予定通りにご講演いただき、新年会も出席。テーマは未だ決定していないが30分間予定。謝礼はなく交通費を常識の範囲でお支払いする。

委員会だより

社会保険委員会便り

社会保険委員会 委員長 小笠原和也

【自家製剤加算のレセプト記載方法】

自家製剤加算を算定する場合は調剤録等に製剤工程を記載する必要があります。また、レセプト摘要欄にも加算理由が不明な時はその事由を記載する必要があります。事由に関しては保険者もわかるように調剤録等に記載している製剤工程を記載するほうが適切と考えられます。

(事由が分からないときは査定の対象になるおそれがあります。)

例) 医師の指示により半割→割線により半割

(割線を用いない半割の場合は算定できない可能性があるため。)

【重複投薬・相互作用等防止加算の

レセプト記載方法】

重複投薬・相互作用等防止加算はレセプト摘要欄に算定理由などを記載することは求められておりません。しかし、レセプト記載内容から算定理由がわかりづらい場合は返戻になる場合がありますので、算定した場合は摘要欄を利用して算定事由を記載するほうが良いでしょう。

例 1) 他院で同効薬が処方のため疑義照会し〇〇錠
28 日分処方削除

例 2) 相互作用があるため疑義照会しクラリスをフ
ロモックスに変更

【重複投薬・相互作用等防止加算の算定について】

重複投薬・相互作用等防止加算が適正に算定され
ていないレセプトがありますので、算定要件を再度
ご確認ください。

イ) 併用薬との重複投薬（薬理作用が類似する
場合を含む）

ロ) 併用薬、飲食物等との相互作用

ハ) 残薬

ニ) そのほか薬学的観点から必要と認める事項
薬剤の追加や日数の延長等で算定する場合は上記の
(ニ) に該当した場合です。(ハ) の理由で医薬品の
日数を延長したとしても算定することはできません。

患者の希望や処方漏れ、処方の入力誤りを疑義照
会にて変更した場合などによる加算の算定は、この
算定の要件を満たさない物と考えます。

例) 30 日投与制限のある薬剤を、うっかり 60 日
処方した内容に関して疑義照会にて 30 日に変更
した場合の加算算定も同様に不適切と考えます。

実務実習委員会よりお知らせ

現在実務実習において県外大学のふるさと実習が
増えており、それに伴って実務実習受入施設が不足
しています。

県外の大学で、地元に戻ってふるさと実習を受け
ようとしても実習先が無いため実習できないと
いうことは、卒業後県内薬局での就職を検討してい
る学生にとって、県内での実習を通じて体験する機
会が失われてしまいます。

指導薬剤師がいる薬局で実習受入の手挙げをされ
ていない薬局がありましたら、ぜひご協力をお願い
します。

広報情報委員会

● 国立病院機構弘前病院

《 新規院外登録薬品 》

- ・L-ケフレックス小児用顆粒
- ・ツムラ猪苓湯エキス顆粒
- ・リパクレオンカプセル 150mg
- ・シムジア皮下注 200mg シリンジ

● 弘前市立病院

《 新規院外登録薬品 》

- ・エレルサ錠 50mg
- ・グラジナ錠 50mg

● 弘前大学医学部附属病院

《 新規院外登録薬品 》

- ・アミオダロン塩酸塩速崩錠 100mg 「TE」
- ・イソソルビド内用液 70%分包 30mL 「CEO」
- ・エピデュオゲル(15g/本)
- ・エビリファイ内用液 0.1%(1mL 包)
- ・エビリファイ内用液 0.1%(3mL 包)
- ・エビリファイ内用液 0.1%(6mL 包)
- ・エビリファイ内用液 0.1%(12mL 包)
- ・エレルサ錠 50mg
- ・グラジナ錠 50mg
- ・コデインリン酸塩錠 20mg 「タケダ」
- ・ジカディアカプセル 150mg
- ・スピオルトレスピマット 60 吸入
- ・ゼンタコートカプセル 3mg
- ・タグリッソ錠 80mg
- ・タフィンラーカプセル 50mg
- ・タフィンラーカプセル 75mg
- ・ダラシンカプセル 150mg
- ・ビラノア錠 20mg
- ・プララルエント皮下注 75mg ペン
- ・ヘマンジオルシロップ小児用 0.375%
- ・ミカトリオ配合錠
- ・メキニスト錠 0.5mg
- ・メキニスト錠 2mg
- ・リアルダ錠 1200mg
- ・ルコナック爪外用液 5%

編集者：佐々木 直実

研修会案内 平成29年1月

講演会名・日時・会場	内容	備考	単位
<p>地域連携・医療連携を考える 学術講演会</p> <p>日時 2017年1月23日(月) 18:45 - 20:40 会場 アートホテル 弘前シティ 3階 サファイア</p>	<p>18:50-19:30 (40分) 「超高齢社会に必要な脳卒中地域連携戦略 ～最大の治療は、予防と時間～」 板柳中央病院 内科 医長 村上 洋 先生</p> <p>19:30-20:40 (70分) 「脳卒中地域連携は予防と発症時の初期対応から」 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 内科 副部長 目時 典文 先生</p>	<p>JPALS 研修会コード：02-2016-0118-101</p> <p>主催：第一三共株式会社 後援：青森県薬剤師会弘前支部</p>	1
<p>SGLT2 Clinical Meeting in HIROSAKI</p> <p>日時：平成29年1月20日(金) 19:00～20:10 会場：アートホテル 弘前シティ 3階 トパーズ</p>	<p>【商品紹介】19:00～19:10 「選択的 SGLT2 阻害薬-2 型糖尿病治療剤-デベルザ錠」 興和創薬株式会社</p> <p>【特別講演】19:10～20:10 「SGLT2 阻害薬が切り開いた糖尿病治療のパラダイムシフト ～ SGLT2 阻害薬 800 例の臨床経験を踏まえて～」 イムス記念病院 糖尿病・腎不全・透析センター長 斉藤 丈洋 先生</p>	<p>JPALS 研修会コード：02-2016-0004-100</p> <p>主催：興和創薬株式会社 後援：青森県薬剤師会弘前支部</p>	無
<p>第47回薬剤師生涯セミナー</p> <p>日時：平成29年1月21日(土) 15:30～17:00 会場：ホテルニューキャッスル 2F 「曙」</p>	<p>「地域包括システムと薬剤師」 (一社) 青森県薬剤師会 常務理事 磯木 雄之輔 先生 DVD 研修・地域ケア会議「個別会議」について 株式会社日本総合研究所 創発戦略センターシニアアドバイザー 齊木 大 先生 薬事監視について 弘前保健所 葛西 優 先生 大川 晋生 先生</p>	<p>JPALS 研修会コード：02-2016-0120-101</p> <p>主催：青森県薬剤師会弘前支部</p>	1

<p>平成 28 年度青森県臨床内科医学 学会弘前大会</p> <p>日時：平成 29 年 1 月 21 日 (土) 15:45 ~ 19:00</p> <p>会場：弘前パークホテル 4F フォイアーレ</p>	<p>【教育講演 I】 15:45 ~ 16:15 「県内医療機関の喫煙対策状況について」 ナルミ医院 院長 鳴海晃先生</p> <p>【特別講演 I】 16:15 ~ 17:00 「肺癌治療の最近の話題と展望」 弘前大学大学院医学研究科消化器外科科学講座 講師 木村憲央先生</p> <p>【特別講演 II】 17:05 ~ 18:00 「新しい敗血症の診断・評価と抗菌薬適正使用について」 弘前大学臨床検査医学講座准教授 弘前大学医学部附属病院感染制御センター 副センター長 齋藤紀先生</p> <p>【特別講演 III】 18:00 ~ 19:00 「日本人における 2 型糖尿病治療のアルゴリズム」 太田総合病院附属太田西ノ内病院糖尿病センター 次長 杉本一博先生</p>	<p>JPALS 研修会コード：02-2016-0123-101</p> <p>主催：青森県臨床内科医学会 後援：青森県薬剤師会弘前支部</p>	<p>2</p>
<p>第 14 回在宅医療勉強会</p> <p>日時：平成 29 年 1 月 25 日 (水) 18:45 ~</p> <p>会場：弘前文化センター 2F 大会議室</p>	<p>【製品紹介】 褥瘡・皮膚潰瘍治療剤フィブラストスプレー 科研製薬株式会社</p> <p>【特別講演】 午後 7 時 ~ 午後 8 時 『褥瘡の局所治療を理解しよう ~保存的治療から物理療法まで~』 弘前大学大学院医学研究科形成外科学講座 教授 漆館聡志先生</p>	<p>JPALS 研修会コード：02-2016-0005-100</p> <p>主催：弘前市医師会介護保険委員会・ 科研製薬株式会社 後援：青森県薬剤師会弘前支部</p>	<p>無</p>
<p>弘前大学医学部附属病院緩和 ケア公開講座</p> <p>日時：平成 29 年 1 月 26 日 (木) 18:00 ~ 19:30</p> <p>会場：弘前大学医学部 臨床小講義室</p>	<p>第 22 回勉強会 「緩和ケア総論」 麻酔科医 緩和ケア診療室 木村 太 先生 「新時代の不眠症治療」 精神科医 古郡 規雄 先生 「イレウス・サブイレウスを繰り返すときの食事の工夫」 栄養管理部 主任管理栄養士 三上 恵理 先生</p>	<p>JPALS 研修会コード：02-2016-0122-101</p> <p>主催：弘前大学医学部附属病院腫瘍センター 共催：青森県薬剤師会弘前支部</p> <p>★事前 FAX 申込にご協力下さい。</p>	<p>1</p>

【予告】

内分泌疾患の診断と治療のコツ

平成 29 年 2 月 27 日 (月) 18:45-

プラザホテル 2 階

第一三共 (株)